

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0970
施設名	花小金井にこにこ保育園
施設所在地	東京都小平花小金井4-11-22
法人名	社会福祉法人 豊仁会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由>

乳幼児共に一番親しめるものは何かを考え、子どもたちと意見を出し合った結果「色」にすることに決めた。

2. 活動スケジュール

- ・ 5月下旬 双眼鏡作り
- ・ 6月2日 製作した双眼鏡を持ち、公園を探索
- ・ 6月17日 双眼鏡を持ち、園庭を探索
- ・ 7月18, 29, 30日 タイダイ染めでTシャツ作り
- ・ 8月 幼児全員で虹の製作
- ・ 8月27日 自分で染めたTシャツを着て夏祭り
- ・ 2月16日 虹の実験
- ・ 3月9日 しゃぼん玉ショー

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 双眼鏡作り・・・カラーセロファン、トイレットペーパー、リボン、両面テープ、毛糸、折り紙、セロハンテープ、ホチキス、画用紙、クレヨン
- ・ タイダイ染め・・・白地のTシャツ、タイダイ染めセット、網、タライ、アルミ皿、袋、手袋、ジップロック、輪ゴム、ブルーシート
- ・ 共同製作・・・厚紙、絵の具、画用紙、ガムテープ、写真
- ・ 虹の実験・・・電子黒板、霧吹き、CD、懐中電灯、画用紙、厚紙、段ボール、ペットボトル、両面テープ
- ・ しゃぼん玉ショー・・・外部より、パフォーマー（専門家）を呼んだ。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 双眼鏡・・・選んだセロファンの色によって、物の見え方が変わることを感じる。
- ・ タイダイ染め・・・好きな色と模様を自分で選び、染める。
- ・ 共同製作・・・虹の形に手形を並べて虹を製作。
- ・ 虹の実験・・・虹の出来る仕組みを知り、様々な道具を使って実際に虹を作る。
- ・ しゃぼん玉ショー・・・外部から専門家を呼び、しゃぼん玉の色の違いを感じる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

〈双眼鏡〉実際に公園や園庭に行き、花や遊具の色、周りの景色を見ることで普段見える景色との違いを見つける姿が見られた。

〈タイダイ染め〉色が混ざり合う変化に気付き、「青と黄色を混ぜるとどうなるかな?」「これ混ぜると紫になった」など発見を言葉で伝え楽しんでた。様々な色を用意した為、「こっちのピンクにしよう」など色の違いを楽しむ姿が見られた。

〈共同製作〉自分や友だち、保育者の手が並び、虹ができあがっていくのを楽しみにする児が多く、完成して作品ができあがると声を上げて喜ぶ姿が見られた。

〈虹の実験〉

虹に対しては様々な反応が見られたが、実際にどうやってできるのか知ると興味深そうにしていた。実験では、虹ができると不思議そうな表情をする児や友だちと覗いて喜ぶ姿が見られた。

〈しゃぼん玉ショー〉しゃぼん玉も光の加減で虹色に見えてとても喜んでた。実際にしゃぼん玉の中に入る体験をすることで虹に見えることを身近で体験することができた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

〈双眼鏡〉今回片方ずつ色を変えて様々な物を見てみたが、保育者の「何色に見えた?」の質問に対してハッキリとわからない色のことを「虹色」と表現する児が多いことに驚いた。

〈タイダイ染め〉作ったTシャツを友だち同士で見せ合い、「〇〇ちゃんの色と似てるね」や「これどうやってやったの?」など異年齢児との交流のきっかけにもなっていた。

〈共同製作〉子どもたちの目の前で作品が仕上がっていく様子を見ることができ、完成していく工程を子どもと共に感じる事ができた。また保育者も一緒に手形を押すことで楽しさを共有することができ、一つの作品をみんなで完成させる達成感にもつながった。

〈虹の実験〉3種類の実験を行ったが、「4色は見えた」という児が多く、見えても6色で7色全て見つけられた児はいなかった。こういった「想像と違った」と思う実験をもっと子どもたちと体験したいと思った。

〈しゃぼん玉ショー〉幼児クラスだけでなく、乳児クラスも参加できたことでみんなで楽しい体験をすることが出来た。そして、このショーをきっかけに色々な道具でしゃぼん玉が作れることや、しゃぼん玉の中にも虹が見えることなど身近な所での発見もあり、今後の活動にも取り入れていきたいと感じた。